

ちかみちよりも

まわりみち vol.7

-Contents-

塾長の活活算数講座 創から

2023年落語教室稽古じまい

活ママの「教えてください」②一算数編一

読物活塾草紙こども落語その陸 狸賽



miyamori

豊かな発想力を一生の財産に

! 松江算数活塾

まわりみち

松江算数活塾通信 1月上旬号
2024年1月1日発行 vol.7(毎月2回発行)

思いを悪用するのですから、現代で言えばこの男、特殊詐欺グループのリーダーみたいな悪党ですが、そこは落語なので、限りなく不徹底で悪人になりきれません。そもそも「たーちゃん、次は一、一だよ、一お願いします。」など手の内をさらけ出す指示をおおっぴらにするのですから、いくら鈍い仲間たちでも気づきます。初めは上手くいって儲けますが、すぐにぼろを出してしまします。よせばいいのについて調子に乗ってしまう男と大まじめに尽くそうとするためぎのやりとりがたまらなくおもしろい話です。

子どもとためぎは相性がいい、そう思います。大人に比べてどことなく丸みを帯びた顔や体型だし、人をだますわりにはずるい感じがしないという点でも子どもが演じるためぎはよくはまります。ちよつと複雑な心情を描くので、これまであまり積極的に取り上げてきませんでした。したが、子ぎつねと子だぬきが登場するともすてきな小咄があります。当塾の嘶家とチャレンジしてみたいと思っっています。「活活こども寄席」の成長のためにも「化ける」話を。

(宮森健次)

編集後記

二〇二四年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年、三月三日(日)は、顧問細水保宏先生の二回目の大人の算数活塾、四月十四日(日)は、上方から笑福亭喬若さんを招いて、活活こどもと大人寄席を開きます。当塾落語教室生と喬若さんの競演です。どちらも、ぜひ予定に入れておいてください。(M)

発行・編集/松江算数活塾
〒690-0871 松江市東興谷町386-7 TEL 0852-67-8005
<https://katsujuku.net>



里語の架け橋

新年あけましておめでとうござい
ます。

新年初めは、昨年十一月に里さん
が私たちにかけていただいた、里語
の架け橋「友愛数」のお話です。

まず、友愛数についてお話しする
前に完全数についてお話しします。
「完全数」とは約数に係する数
で、その数以外の約数をたすとその
全数は6で、6の約数（1, 2,
3, 6）の6以外の約数の和は1 +
2 + 3 = 6となります。そして、6

$$p = (2^{n-m} + 1) \times 2^m - 1, q = (2^{n-m} + 1) \times 2^n - 1, r = (2^{n-m}$$

の次の完全数は28です。

この「6」と「28」は旧約聖書
にも登場します。それは、神は6日
間で世界を創造したとされ、また、
月は28日で公転するため、この6
と28は神の完全性を示す数字とさ
れてきました。紀元前6世紀を生き
たピタゴラスは、数の調和や整合性
を重んじ、完全数や友愛数を宗教的
美しさとして崇拜したほどです。

それでは、里さんに架けていただ
いた友愛数についてですが、「友愛
数」とは、その数を除いた約数の和

$$p = (2^{n-m} + 1) \times 2^m - 1, q = (2^{n-m} + 1) \times 2^n - 1, r = (2^{n-m} + 1)^2 \times 2^{m+n} - 1, p = (2^{n-m} + 1)$$

が互いに等しくなる二つの数を言
います。里さんにいただいた作品の2
20cmと284cmの2つの数値
は最小の友愛数で、220の約数を
220を除いて全てたすと284に
なり、284の約数を284を除い
て全てたすと220になります。

つまり、「220」とつての完全
数はあなた284です。」

「284」とつての完全数はあな
た220です。」
という、相手をリスペクトしあう関
係性が友愛数です。里さんに架けて
いただいた友愛数の架け橋は私たち
の誇りとなりました。

それではみなさま、「まわりみ
ち」「大人活塾」「松江算数活塾」
をご鼠肩賜りますよう、本年もど
うぞよろしく願います。

(塾長 川上宜久)

読物「活塾章紙」
こども落語 その陸

狸賽

落語のどんなところがいいか、と聞か
れて「だつてたぬきやきつねが出てくる
でしょう。いいよねえ」と語つたのは、
名人故古今亭志ん朝さんです。ちなみにジ
ブリ映画「平成狸合戦ぽんぽこ」のナ
レーションを務めたのも志ん朝さんでし
た。

動物が出てくる落語はたくさんありま
すが、抜ぎん出て多いのはやはりたぬき



でしょう。人を化かす上にどこかユーモ
ラス、落語がこんな特異なキャラクター
をほつておくはずはありません。当塾も
たぬきをメインキャラクターにしていま
すが、これは考案者が落語の縁起担ぎに
塾のそれを重ねたためです。「化ける」
は「上昇する」「成長する」につながり、
縁起のよいものとされているのです。それ
ゆえ寄席ではたぬきネタはかかりやす
く、今回のお題の「たぬき」もこれま
で何度も聞きました。塾のたぬきにも、
算数も落語も大いに上昇、成長しよう、
という願いがこめられています。このたぬ
き、まだ名前がありません。思いつかれ
た方、ぜひお寄せください。
「たぬき」は「たぬきのさいころ」を
縮めたもの。あるばくち打ちが恩返しに
来たたぬきをサイコロに化けさせて一も
うけを企むという話です。たぬきの純な